

オリック通信 No.7

知って得する洗濯術

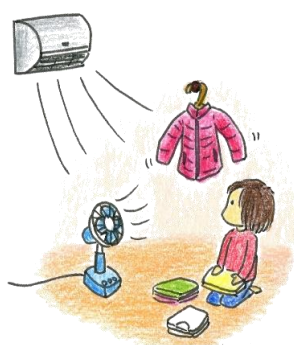
【樹脂コーティング加工された衣類の特徴と弱点】

真冬の外着として活躍するのは、コートやダウンジャケットですね。特に最近のものは薄手なのにとっても温かく感じられるものが増えてきました。これらの中には繊維の裏側から、顔料を含んだ合成樹脂をコーティング加工されたものが多くみられます。例えば綿のような天然繊維にこのような加工をすると防水機能を持つ繊維になります。しかもこの加工によってしっとりとした独特の風合いになり、防水、防風機能と風合いの両方を兼ね備えた衣類を作ることができるようになりました。



ちなみにこの加工方法がなかった頃、防水加工された衣類はゴワゴワした肌触りでした。通気性もなかったため、着ると息苦しく体にも負担がかかりました。今では軽量化も進み、着心地も良くなっています。さらに樹脂コーティング加工したダウンジャケットは、羽毛の飛び出しを防ぐ効果もあります。

しかし、次のような欠点もあります。コーティングされている樹脂は一般的にポリウレタン系のものが使用されています。このポリウレタン樹脂は雨や雪などで濡れたあとに、そのままクローゼットのような湿気がこもりやすい場所に保管しておくとし、樹脂が徐々に分解されてしまいます。また、ポリウレタン樹脂は空気中の水分によっても分解が起こりますので、新品のまま収納していても劣化を抑えることはできません。製造されてから約3年でベトツキや剥離が発生しはじめるようです。そこで少しでも寿命を長く持たせるには、濡れたら回転式乾燥機は使わず、エアコン暖房の効いた部屋にハンガーなどで吊るし、さらに扇風機などを使用して風乾してください。濡れていない場合でも、外から帰ったら同じように風乾して、湿気の少ない通気性の良いところに保管しましょう。



ポリウレタン樹脂は、合成皮革や人工皮革、ストレッチが効いた繊維などにも使用されています。ポリウレタン樹脂を使用した衣類は残念ながら、大切にお手入れをしても他の繊維より寿命が短いのが現状です。機能やデザインだけではなく、衣類の寿命にも気を付けておしゃれを楽しみたいですね。